

自ら考えて、行動できる選手になろう!

FOR OUR FUTURE BASEBALL

Timely!

高校球児部活動応援マガジン **タイムリー**



No.
60

2021.JUL.

ベースボールテック特集

BASEBALL TECHNOLOGY

進化する立花学園。

テクノロジー導入派
監督アンケート

気になるデジタルツールを
調べてみた件
「Nobi for Team」

特集

僕たちの ナッツタイ

泣いて笑って最後の夏

2021

幕張総合高校(千葉)
神戸弘陵学園高校
女子硬式野球部(兵庫)
千葉聳^{ろう}学校(千葉)





C O N T E N T S

Timely! column 2 PEOPLE 田中美羽 (埼玉西武ライオンズ・レディース/内外野手)
3 GEAR UTme!で記念のオリジナルユニフォームを作ってみました

特集

4 僕たちのナツタイ2021

6 幕張総合高校 (千葉)
“全員野球”で「そうだ、甲子園行こう!」

10 神戸弘陵学園高校
女子硬式野球部 (兵庫)
女子も高校野球の聖地・甲子園を目指せる時代へ

14 千葉聳学校 (千葉)
最後まで笑顔で野球をすることが、僕らの“甲子園”



18 球児を支えるサポーターが送る!!
胸アツな全力応援メッセージ

ベースボールテック特集
BASEBALL TECHNOLOGY

22 進化する立花学園。

28 テクノロジー導入派!
野球部監督アンケート

30 気になるデジタルツールを調べてみた件。
Vol.1 Nobi for Team

32 西尾マンが発掘する
WHO'S NEXT! vol.13

ウサダーが直撃取材!
33 イケてるプラバンなう!!
市立柏高校・吹奏楽部

34 “バイセン”による海外留学のススメ
松丸航太郎バイセン

36 PRESENT

Timely!

No.60 2021.JUL.

Cover Photo / Hisaya Hirose
Cover Design / Takeshi Hiramatsu (i'll Products)



今号の表紙
「ダイバーシティ」をテーマに、注目の新興チーム、
強豪女子チーム、ろう学校チームというんな「ナツ
タイ」をフィーチャー。多様性って可能性だ!

Staff

Publisher 高橋 功 Isao Takahashi

Producer 島本隆史 Takafumi Shimamoto
(ACE)

Chief in Editor 高橋美由紀 Miyuki Takahashi

Sales Assistant 荒木香保里 Kahori Araki

Art Director 平松 剛 Takeshi Hiramatsu
(アイル企画 / i'll Products)

Editor 藤倉大輔 Daisuke Fujikura
松野友克 Tomokatsu Matsuno
村上 幸 Miyuki Murakami

Writer 榎本ゆき Yuki Kashimoto
喜岡 桜 Sakura Kioka
西尾典文 Norifumi Nishio
山口史朗 Shiro Yamaguchi
山口真央 Mao Yamaguchi

Designers 酒井好乃 Yoshino Sakai
堀田優紀 Yuki Hotta
渡邊真央 Mao Watanabe
宮島 薫 Kaoru Miyajima
(アイル企画 / i'll Products)

Photographer 井上満嘉 Mitsuyoshi Inoue
小澤達也 Tatsuya Ozawa
小沢朋範 Tomonori Ozawa
廣瀬久哉 Hisaya Hirose

Illustrator 森 翔悟 Shogo Mori

Printer 三晃印刷株式会社

発行元 株式会社SEA Global

事業統括 ACE株式会社 タイムリー編集部
〒158-0094 東京都世田谷区玉川3-13-4
玉川134ビル301
E-mail: info@timely-baseball.com

©SEA Global CO.,Ltd
All Rights Reserved 禁・無断転載

定期購読とバックナンバーのお問い合わせ

雑誌のオンライン書店 Fujisan.co.jp

➡ <http://fujisan.co.jp/pc/timely>

☎ 0120-223-223 (年中無休24時間営業)



「野球の楽しさ伝わりやすい」 女子野球の魅力をプレーでアピール!

田中美羽

(埼玉西武ライオンズ・レディース/内外野手)

近年、注目度が高まっている女子野球。今春の選抜大会で史上最多の33校が参加しました。

夏の全国大会決勝が初めて甲子園球場で行われることも決定。

埼玉西武ライオンズ・レディースの田中美羽選手(23)が全国の子選手へメッセージに送ってくれました。



1 ライオンズと同じユニホームで「L」ポーズの田中さん。2 横濱隼人時代は主将。「人間性抜群の主将でした」と恩師の田村知佳監督(写真右)。3 4月に行われた栃木さくらカップ決勝でエイジェックに勝利し、初代王者に輝いた。

PROFILE

1998年生まれ、神奈川県川崎市出身。内外野手。右投右打。小1の時に兄の影響で野球を始め、中学から女子硬式野球クラブのオール京急でプレー。U-18(ユース大会)で優勝。横濱隼人主将として夏の全国8強を果たす。日本大学2年(アサヒトラスト所属)で侍ジャパン女子代表入り。女子野球W杯6連覇に貢献した。

小1のとき、3歳年上のお兄さんの影響で野球を始めた。「兄の野球について行ったら、コーチから『入団したらピンクのユニホームがもらえるよ』って言われて(笑)。でもそこから野球の魅力にすっかりハマっています。懐かしそうに笑う。学童野球で男子に混ざって野球を始め、中学からは女子硬式チームに入団。オール京急—横濱隼人—アサヒトラストを経て12球団初NPB公認の女子硬式野球チーム「埼玉西武ライオンズ・レディース」の初期メンバーとして入団した。現在は一般企業に勤めながら土日中心に

練習に励んでいる。チームの最大の目標である全日本女子硬式野球選手権大会。個人としては侍ジャパン女子代表入りを目指している。技術を磨きつつ、野球教室などを通じた競技普及、底辺拡大にも尽力。近年、女子野球の熱が高まっていることを心から喜んでいる一人だ。「女子野球って『野球が楽しい!』という気持ちが喜怒哀楽で全面に出るスポーツだと思います。女子の甲子園決勝が決まったことはとてもうれしかったです。甲子園は女子選手にとってずっと憧れてきた特別な場所。後輩たちが聖地に立てたら

最高ですね」と楽しみにしている。

田中さんは、仲間と切磋琢磨して過ごした高校時代を今でも忘れない。最後の夏の大会で、自分の後ろにボールが落ちた。「もう1歩下がって守っていれば……」と悔やむ。だからこそ、高校生には悔いのないプレーを願う。「高校野球の2年半はかけがえのない時間です。周りで支えてくれている方々への感謝の気持ちを忘れずに、一度きりの勝負の瞬間を全力で楽しんでください。その姿は多くの人を魅了すると思います!(目指せ!甲子園!)」と話した。

GEAR



赤なら快適な素材でも透けないので、マネージャー用に色が選べたのも嬉しい!

軽くて着やすい!パフォーマンスも上がりそう

今回ユニフォームを作成したのは「日本大学 準硬式野球部」の皆さん!

部員全員で揃えた練習着があまりなかったけど、お揃いだとグルーヴ感が出ていいね!

部員全員が意見を出し合って考えたので、それぞれの思いが込められたユニフォームになったのかなと思います

コロナ禍でも特別な思い出を!

UTme!で記念のオリジナルユニフォームを作ってみました

ドライEXの生地を使ったオリジナルユニフォームも作成できるUTme!。部活動の記念Tシャツなども1枚から部員全員分までオーダーが可能なサービスです。一生の思い出としてずっと着られる一枚を日本大学 準硬式野球部の皆さんがオーダーしました!

最短5日で選べる色・パターンも豊富!

スマホで誰でも簡単に、世界でひとつのオリジナルアイテムが作れるユニクロの「UTme!」。シルエットやカラーが豊富なTシャツをはじめ、スウェットやトートバッグなど、さまざまなアイテムにオリジナルのデザインをプリントできます。スマホアプリでシミュレーションをしながら作れるので、ゲーム感覚で楽しく作れるのが特徴です。今回はドライEXクルーネックTシャツでオーダー!

オーダーはスマホで簡単に! 手間もかからない!

「UTme!はとにかく操作が簡単。リアルな仕上がりイメージが視覚的に見え、デザイン決めも楽しく短時間で注文できました。フォントや文字数、配置する位置に決まりはあるんですけど、自由すぎないから逆に簡単でよかったです。一枚づつサイズが選べるのも嬉しい!」。



速乾性・吸汗を備えたドライEX素材で部活オリジナルとしても最適

「UTme!」でデザインできるドライEXクルーネックTシャツは、S~XXLの5サイズ、8色から選択可能。汗を瞬時に吸収して乾かし、肌をサラサラに保つ「速乾機能」を搭載。汗をかきやすい脇や背面をメッシュ編みし、抗菌防臭機能も備えています。



UTme!



※現在ご好評につき、インクジェットプリントは発送までに通常よりお時間をいただいております。詳しくはこちらをご覧ください。→ <https://utme.uniqlo.com/news/12901/>



特集

僕たちのナツタイ 2021

あたらしいナツが幕を開ける

第102回を迎える予定だった夏の甲子園が戦後初の中止となってから1年。今年も感染予防対策をしっかりと行ったうえ、8月9日から開催される予定だ。そのナツタイに向け、各校がさまざまな目標を定めて練習に励んでいる。

今回取材したのは、プロ注目のダークホースが在籍する幕張総合高校、女子野球の頂点を目指し厳しい練習をこなす神戸弘陵高校の女子硬式野球部、障害のある球児が中高合同チームで奮闘している千葉聾学校の野球部の3校。ナツタイが1日でも長く続くように、ユニフォームを泥だらけにして鍛錬を続ける姿に密着した。



- PART 1 幕張総合高校 P6
- PART 2 神戸弘陵学園高校(女子硬式野球部) P10
- PART 3 千葉聾学校 P14

幕張総合高校

[まくはりそうごうこう・千葉県]

School Data

●監督/柳田大輔 ●部長/藤平 真
●部員数/3年生27人 2年生18人 1年生17人
マネージャー9人
県立幕張北高校、県立幕張西高校、県立幕張東高校の3校が統合される形で1996年に創立。野球部は創立と同時に創部された。2021年の春季大会でベスト16に進出した。

PART 1



頑張るぞ!!

1 約60人の選手がのびのび練習できる環境が整っている。
2 3 4 5 対外試合の前でも黙々と自主練習に励んでいる。グラウンドではキャッチボールや守備練習、ブルペンでは投球練習など、各々自分に足りない部分を強化して試合に臨んでいる。
6 指揮を執るのは同校OBの柳田大輔監督。「面白い監督がいると聞いて進学を決めた」という選手もいるほど注目度が高まっている。チームの主体性を重んじた指導で夏へ挑戦!
7 野球選手を陰から支える9人のマネージャー。3年生の星田陽南(ひな)さん(写真の前列左から2人目)は、昨年の秋季関東地区大会決勝戦でアナウンスを務めた。

“全員野球”で「そうだ、甲子園行こう!」

さまざまなスローガンが各所に掲げられており、「そうだ、甲子園行こう」は“公立校でも『思いがあって、行動に移せば、行ける場所』。だから夢物語にたくない」という部員の思いが詰まっている。今頭角を現しつつあり、ナツタイで台風の目になること間違いなしのナイン取材した。

取材・文=山口真央 写真=廣瀬久哉

自主性のある練習が光る、激戦区千葉のダークホース

毎年数々のドラマが生まれる千葉のナツタイ予選。甲子園出場経験こそないものの、ひそかに注目を集めているのが幕張総合高校だ。昨年の秋季大会、今年の春季大会ともに県ベスト16。他校の監督も「今年の幕総は期待できそうですね」となる。

成長の軸となっているのが、選手たちが自ら考案するという練習メニューだ。毎日選手全員でこなすルーティンワークは存在せず、素振り、ウエイト、選手ひとりひとりが自分に足りないものと考えて調整している。

日々の練習を支えるのは、公立校とは思えないほど充実した施設で、両翼90mの広々とした野球部専用グラウンドをはじめ、雨天でもウエイトができるよう考えられた部室、3選手同時に投球練習ができるほど広いブルペンなど、約60人の選手がそれぞれ満足いく練習ができている。

練習の成果を確かめるため、毎週末のよう

に対外試合が組まれており、柳田監督の腰の低さ、堅実さが人を呼び、県内外の強豪校が相手の場合もある。主将の沖崎は、「いろいろな高校と試合をすることで、野球に対する取り組み方が変わりました。今まではティーひとつとっても、目的意識がなかった。でも、ああいうバッティングがしたい、ああいう打球を飛ばしたいと考えながらバットを振るようになりました」と話す。日々の練習と対外試合。その繰り返しがチームを飛躍させようとしている。

千葉の厚い壁も、チーム全員で超えていく!

2021年のドラフト候補に名を連ねる村山亮介の存在も大きい。外部からの注目度が高まる中、柳田監督は「良いものは良い、すごい人に対してはすごいと言える、素直な選手が集まっています。村山が味方にいるという安心感は選手たちからも伝わってきますし、彼の存在がチームを上昇志向にしているのは間違いありません」と語る。実際、対外試合

中に「お前なら打てるぞ!」、「俺がお前までつなぐぞ」といった声かけが多く、“村山なら必ず何かやってくれる」という不動の四番に対する期待の高さがうかがえた。沖崎主将は「千葉はベスト16の壁が厚いのですが、ここを突破するためにチーム全員

で成長していきたい。選手、監督、マネージャー、保護者、応援してくれるみなさんと一緒に成長して、いい結果を報告したいんです」と語気を強める。この夏は、これまでの練習の成果を全員野球で発揮して初の甲子園出場を目指す。

Close up!

選手を温かく見守る保護者たちがアツい!

毎週末の対外試合には、忙しい合間を縫って多くの保護者が応援に駆け付ける。「幕張総合高校で野球ができてよかった」、「監督のやさしさと厳しさに感謝している」など、この学校を選んで本当によかったという満足感でいっぱいだ。「今までで一番野球が楽しそう」、「自分の目標を達成できるよう頑張っほしい」と、今ある運営方針に寄り添い、選手たちを温かく見守る姿がそこにある。ナツタイに向け、現在は6,000羽以上の折り鶴で応援幕を作成中。保護者同士で話し合い、同校のイメージカラーである水色の折り鶴を折ることを決めた。選手達の支えになりたいと、一つひとつ心を込めて折られている。



想いよ届け~!!



幕張総合高校って?

1996年に開設された全校生徒2,200名という幕張総合高校の大きな特徴は「単位制」。2、3年生はほとんどの授業が選択制となり、大学のような「空きコマ」「2限始まり」といった時間割も作成可能だ。クラスという概念もほぼないため、野球部員は授業中や休み時間も一緒に過ごすことが多い。かつては県予選初戦敗退も多かった野球部も、近年はシニアリーグ出身の選手の入部も増え、部員はマネージャーを含め約70名の大所帯に。これまでの選手権大会最高成績は2017年の4回戦敗退。今年は投打のバランスのとれたチームで、さらなる高みを目指す。

Team Report

春季千葉大会をバネに強くなりたい

5月に行われた春季大会では、3回戦敗退にとどまった。2回戦では5回コールドの快勝を収めていただけに、選手たちには悔しい思いも残った。その悔しさをバネに、夏に向けての活力にしたい。

好調をキープすることの難しさを学ぶ

春季大会の初戦では、市立松戸高校と対戦。3年の梅澤がキレのあるストレートを中心に5回を2失点と好投したほか、攻撃ではクリーンアップが快音を響かせ、4回までに12得点のコールドゲームとした。選手たちからはホッとした笑顔も見られ、保護者も「やはり今年は期待できそうです」と、選手たちの雄姿に夏への想いを膨らませていた。

しかし、強いチームの条件である「いい状態をキープすること」はカンタンではない。3回戦は先日調子のよかったクリーンアップにいまひとつキレがない。エースの重安が登板し、得意のスライダーで打者を翻弄し、1試合を一人で投げ抜くも、打線の援護が得られず2-3で惜敗。投手、打線、どちらか一方だけの調子がよくても勝利にはつながらない。

TEAM	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
市松戸	0	0	0							
幕総合	3	6	1							

4	5	6	7	8	9	PL1B2B3B	1	2
1	7	2	5	6	8	坂伊高 央	8	4
石外松小吉生	野藤和村	森						
原山井松岡江								

チーム全体の調子を上げることがいかに重要なのかあらためて感じさせる結果だった。

なりふり構わず短期間で弱みをつぶす

2回戦はコールド勝ちしていただけに、選手たちには「もっとできたはずだ」という気持ちが残った。春季大会で浮き彫りになったチームの課題を克服すべく、学校にやってくる野球指導者やトレーナーに我先に教えを乞おうとする積極的な姿が見られた。

柳田監督は「調子がいい、悪いはもちろんありますが、『悪いとき』を一つずつなくしていき、前を向いていきたい。悔しいという思いの上に強さがあることを選手たちには知ってほしい」と語る。

監督の想いを背に受けて選手それぞれが自分の武器を磨き、アツい夏に備えている。



(上) 保護者は「幕総ブルー」のTシャツと、お揃いのタオルで応援。横断幕の持ち込みが制限されるなか、心の中でエールを送る。(下) 市立松戸戦に先発し好投した梅澤投手(3年)。この日はタイプの違うピッチャーが投げて相手を翻弄し見事勝利した。

Key Player

約70名という大所帯をひとつにまとめるキャプテンは、ケガに苦しみながらも前を向き奮闘中。クリーンナップとして活躍が期待されるチームのムードメーカーは、どんなときでも声かけでナインを鼓舞する。チーム上昇のカギを握る2人にフォーカスした。

「長期離脱中でもチームをバックアップ!」

「公立高校で甲子園を目指したい」という沖崎キャプテンは、チームの精神的支柱だ。打撃力と俊敏な守備力を兼ね揃え、プレーの面でも中心的存在を担っていたところ、2年生の秋に肩

を負傷。長期の戦線離脱を余儀なくされた。

繰り返す脱臼に苦しみ、今年の冬には手術も経験。春季大会はベンチ入りを果たすも守備につけるのは夏の大会直前の予定だ。ベンチに座っている時は選手一人ひとりの特徴をよく観察し、個々に伝えた。

「最後の夏は、万全の調子で迎えたい。今年はいいところまで行けるチームに仕上がっています」と語るなど、チームを第一に考えるキャプテンシーがうかがえた。



3年/内野手・主将
沖崎真周
Masyu Okizaki



手術を経験したが夏の大会は完全復帰し、チームの中心選手として臨む。

「声出しだけはスランプがありません!」

練習中や試合中、たびたびベンチや観客席からクスクスと笑い声此起彼伏。その先にいるのは、チームのムードメーカー、正部だ。「あいつは常にしゃべってますよ」という柳田監督。チームが不利な状況に陥っているときは選手を鼓舞するより一層大きな声がグラウンド中に響き、点差が開いていても、正部の声かけ一つでチームの雰囲気ガラリと変わる様子が見られる。「いついかなる時も声を出し続けることで、チームの士気を奮い立たせることを意識していま

す。これまで声出しだけはスランプがありません! これからも声を出しを続けます!」と笑顔を見せる。プレーはもちろん、声出しの様子にも注目だ。



3年/内野手
正部大成
Taisei Masabe



声かけに呼応するかのよう、チームの志気も高まる。

Pick up

3年/捕手

村山亮介

Ryosuke Murayama



プロも注目! ホームラン50本を狙う

身長185センチ、体重108キロ、チームの中でもひととき目立つその身体の大きさ。恵まれた体格から豪快なスイングを繰り出し、6月中旬現在37本塁打をたたき出している。プロ注目選手として、各所から脚光を浴びるようになった彼だが、1年生の時は「大学でも野球ができればそれでいいです」と、大きな身体に似合わぬ小さい声でぼそっと答えるような選手だった。

ひたすら練習に励み、徐々に才能が開花し始めると2年からはレギュラー入り。人並み外れたその体格とバッティングの爆発力から、経験豊富な3年がひしめく中で四番に抜擢される。次第に打撃力が評価され、プロスカウトや強豪大学の監督の目に留まるようになり自信をつけていく。

「プロに行きたいと考えていますが、まずはチームを引っ張って甲子園出場という目標を叶えたいです」と語る様子にかつての面影はない。

個人の目標は通算50本塁打。「必ず達成できと思っています」と強気だ。限られた時間の中でそれが達成できるのか、彼の活躍に注目したい。



スイングスピードや力強さはもちろんだが選球眼もよく、春季大会2回戦では3四球を選んだ。

Support

村山のパワーを支えるお弁当はこれだ!

「生まれたときは4,500g弱もあって(笑)。とにかく幼少期のころから大きかった」と話す村山の母、利恵さん。スラっとした長身のご夫婦で、父の勝行さんはバレーボールをしており、恵まれた体格は両親譲りなのだ。

自宅に帰っても、あまり家族と話をするタイプではないという今どきの男の子。そんな彼を気遣ってか、両親も「今はそっと見守っています。サポートと言えば、キャッチャー道具の運搬や、朝早いとき、悪天候時の送迎くらい」。

密にコミュニケーションをとらない分、特に力をいれているのが愛情をこめて作るお弁当だ。大量に敷き詰められたご飯の上に、大好物の肉がたくさんのっかっている。

息子が各方面から注目されていることについては「にわかには信じがたい話で……」と、戸惑いつつも、プロでも大学でも本人の悔いのない進路を選んでほしいと願っている。

甲子園出場を目標とし、卒業後は厳しい世界に挑もうとしている息子を全力で応援する。



おかずの下に白飯がびっしり!!



「茶色いお弁当」にはとにかく手間がかかるが母の利恵さんは、早朝から毎日肉を焼いたり炒めたり、パワーの源をたくさん詰め込む。



神戸弘陵学園高校って？

男子校として1983年開校。2014年の特進文理コース・体育特選コース男女共学化に伴い、女子硬式野球部と女子サッカー部が創部された。学内の強化クラブに指定されており、全国大会出場やプロ選手を輩出するなど、輝かしい成績を収めている。1期生25人から始まった女子野球部は、創部翌年の選抜大会で準優勝。創部3年目の選手権大会決勝では、女子高校野球最古の歴史を誇る神村学園（鹿児島）に12-1で勝利。念願の日本一を達成した。

女子も高校野球の聖地・甲子園を目指せる時代へ

「勝耐夢（Show Time）」をスローガンに掲げ、5年ぶり2度目の夏王者奪還を狙う。石原監督の男子同等レベルを求める厳しい指導で鍛えられる精神力と持ち前の明るさで、2年ぶりに開催されるナツタイで全国の頂点へ駆け上がる！

取材・文=喜岡 桜 写真=井上満嘉

神戸弘陵学園高校 女子硬式野球部

PART 2
必勝

【こうべさうりょうがくえんこうこうじょしこうしぎやきゅうぶ・兵庫県】



創部8年で全国制覇3回 愛される女子野球部

坂道を登り校門に立つと、打球音やお互いを鼓舞する大きな声が聞こえてくる。来訪者を出迎えてくれるのは女子硬式野球部だ。創部3年目に初の全国制覇を達成し、春夏と秋のユース大会を合わせて6度の日本一に輝いた。女子野球部専用のグラウンドが校舎横に完備され、OGからの寄付などにより立派なベンチやブルペン、ボールドリングや網張りなどのトレーニング設備も充実している。

エースの島野は「中学生に戻って進路選びをやり直せるなら次も絶対に神戸弘陵」と断言した。父娘二代や兄妹揃って同校へ入学している部員がいるなど、在校生はもちろん卒業生にもとても愛されているのだ。

2年ぶりに開催される ナツタイが7月に開幕!

3連覇をかけて挑んだ今春の選抜大会は、準決勝で履正社（大阪）に0-4で敗退。初回から各イニングで出塁するも打線がつながらず、投げたは先発した島野

が3回裏に中越適時打を許し3失点。島野対策をしっかりと練ってきた履正社を前に、本来の実力を発揮できなかった。四番で2年生の正代は「宿舎に帰ってから悔しくてずっと泣いていた。先輩たちの足を引っ張らないため夏までにさらにバッティングを磨きたい」と意気込む。不完全燃焼に終わった春の敗戦を絶対無駄にはしない。

昨夏は新型コロナウイルスの感染拡大により夏の大会が中止に。最後の夏を迎えられなかった先輩たちのためにも、今年の夏は甲子園の舞台へ立ちたい。

6月4日にオンラインで組み合わせ抽選会が実施され、初戦は大会2日目に佐伯（広島）と対戦する。副将の今方は「大会まで残り2カ月しかないので、自分たちができることを精一杯取り組み、全力で大会に挑めるようにしっかり練習をやっていきたい」と語った。

女子野球部の監督として “甲子園” という聖地復帰へ

創部1年目から采配を振る石原監督は、同校男子硬式野球部を2度甲子園へ導き、現中日ドラゴンズの山井大介選手を含む8人のプロ野球選手を輩出している名将。1994年春

Close up!

保護者も安心の完全下校時刻

早朝5:30起床に朝練、放課後はみっちり部活動と、一般的な男子野球部と大差のないタイムスケジュールだ。しかし完全下校時刻は18:30と、遅くまで練習はさせない。理由は「女の子に暗い夜道を歩かせたくない」という普段は厳しい石原監督の優しさがにじんでいる。全寮制ではないため県外の自宅から通っている部員もいて、保護者は石原監督の気遣い大変感謝している。

現在は感染症対策のため、帰寮するとアルコール消毒と検温結果を記入が必須。食事、洗濯、入浴、野球ノートの記入、勉強と自主練習が終わるとすぐに消灯時刻がやってくる。寮内では就寝時もマスクを着用し、感染症予防とクラスターの発生防止を徹底している。



仲良く下校♪

には1回戦で滝川西（北海道）との延長10回のシーズンゲームを制し、勢いそのままにベスト8まで勝ち上がった。

今年の選手権大会で決勝戦まで勝ち進めば、男子・女子硬式野球部それぞれで甲子園出場を果たした史上初の監督になる。石原監督は「女の子でも甲子園で野球ができることが嬉しく、喜びでいっぱい。選手たちにあのグラウンドでプレーする楽しさを噛み締めてほしい」と頬を緩ませた。今春の兵庫県大会で1回戦から明石商業・東播磨・加古川北の強敵を相手に3試合連続でコールド勝ちし3位の

成績を収めた同校男子野球部とのアベック出場にも期待が高まる。

自身が最後に甲子園のグラウンドに立った1999年以来、22年ぶりの聖地へ。今年は何年以上に身の引き締まる夏が7月24日に開幕する。

School Data

- 監督/石原康司 ●部長/城戸翔平
- 部員数/3年生17人、2年生24人、3年生23人
- 創部2014年。6度の全国制覇を誇る強豪校（春2回、夏1回、秋3回）。主なOGは、水流麻夏投手（阪神タイガース Women）、川中もも内野手（埼玉西武ライオンズ・レディース、神戸弘陵教諭）など。



1今年には特に仲良く明るい笑顔の絶えないチーム。2一人1日300スイングは全員共通の最低ノルマ。3部員たちが掲げる全国制覇の目標を叶えるため厳しい言葉で指導する石原監督。4対戦相手に敬意を込めて行う“礼”の練習。高さを揃えるのがコツ。5沖縄県から越境入部している宮城夢叶（ゆめの）選手。堅実な守備が評価されレギュラーを奪取。6選抜で四番を務めた正代侑子選手は軸がしっかりとしたスイングの持ち主。7練習の合間に選手同士で声を掛け合い笑顔がこぼれる場面も。

Player's Voice



いつでも
元気いっぱい!

女子高校野球を語る! 仲良しワイワイ座談会

参加校数は増えてきているけど、未知な部分が多い女子野球界。小林芽生主将、今方凛副主将、浜田さくら寮長、ムードメーカーの伊藤裕美選手、プレー中の笑顔が素敵な信貴友都選手に、普段の学校生活や寮生活について教えてもらった。



——神戸弘陵に入学したきっかけは？

浜田 自分は好きな先輩がいて、入りました。

小林 恋かよ(笑)。

浜田 好きっていうか尊敬みたいな。ストイックでかっこいいなって。

伊藤 自分も好きな先輩がいて、神戸弘陵に入学しました。

信貴 みんなとかぶるんですけど、自分も好きな先輩がいて、練習会に参加したときに楽しかったので入りました。

——女子野球は憧れの先輩の存在が進路に大きく影響を与えるんですね。先日の中間テストの出来はいかがでしたか？

一同 よかったです!!

今方 生物の点数だけみんな良くなかったんです。

小林 教科書通りの問題を出してくれなかったんです。

——みんな一斉に「よかったです!!」って言うのは、野球と勉強を両立できてるってことですね！

今方 文武両道です(座談会メンバー唯一の特進文理コース所属)。

——学校生活だけでなく、寮生活はどうですか？

信貴 楽しいです。

今方 みんないつも一緒にいるんで、家族みたい。

小林 歯磨きするときも一緒に、いろんな話します。

——どんな話をしてるんですか？ 恋バナとか？

一同 恋バナはないんです(それぞれに手や首を横に振る)。

浜田 恋愛禁止なんで(笑)。

今方 ストイックに野球やってます。

小林 ドラマの話とか？

一同 あ————。

小林 「あのドラマ見た?」「見たー!」みたいな(笑)。

浜田 あと「帰省したらなにしたい?」とか。

一同 うんうんうん。(笑)。

——夏の組み合わせが決まりましたが、寮長の浜田さんからみんなへ、これからどう過ごして欲しいですか？

浜田 規則正しい生活をして、野球の話ももっとして、寮生活の中でもコミュニケーションを大切にしていきたいです。

——最後に、今後の目標をお願いします！

伊藤 園芸部(寮母さんと一緒に花を育てる活動)の会長を務めさせてもらっていて、花の栽培・育成・教育をしています。

一同 あはははは!

伊藤 花を愛でることでみんなが笑顔になると思うので。次は紫陽花を咲かせるんですけど、その紫陽花を輝かせて日本一になりたいです。

一同 あはははは(爆笑の末、拍手が送られる)。

——春には見事なチューリップを咲かせて、みんなが笑顔になりましたね。これからの活躍を期待しています!



OG・川中もコーチと自撮りに写る3年生。川中コーチは女子硬式野球部1期生で、3年時に選手権大会優勝を経験している大先輩。

Key Player

「甲子園では男子に匹敵するほどの感動を与えたい」

2018年のジャイアンツカップ優勝投手として一躍話題に。大手スポーツメーカーのCM出演や今夏の男子硬式野球兵庫大会開幕戦で始球式の大役を任されるなど、今後の女子野球界を牽引していく存在のひとりだ。

力強く振り下ろす右腕から投げられる120キロ中盤のストレートと多彩な変化球を武器に絶対的エースを務める、今大会最注目右腕の島野愛友利投手。バッティングにおいても今年の選抜では三番打者として打線の中軸を担い、プレーでチームを引っ張る副主将だ。「対策よりもスキルアップに力を入れるのが弘陵の野球」と話し、オリックス・バファローズの山岡泰輔選手や山本由伸選手のような

力強さの中にしなやかさのある身体の使い方を研究中。寮生活による栄養管理、背筋や下半身の筋力トレーニングなどを行い、高校野球生活の集大成へ闘志を燃やしている。

中学生の頃に在籍した大淀ボーイズでは、春の選抜大会(男子)で準優勝した明豊のエース・京本真を抑えてエースナンバーを背負う。男子に劣らない堂々たるピッチングで強豪チームを全国制覇へと導き『史上初の女子の胴上げ投手』として大きく取り上げられた。女子野球普及への想いが強い島野は「女子野球を当たり前前の競技にしていきたい。競技名の前に“女子”とつく時点で、まだ広く認知された競技ではないですね。他競技のように競技名を聞くと男子と女子どちらもプレーしている姿が浮かぶようになれば」と話した。

兄2人はそれぞれ大阪桐蔭と履正社在籍中に甲子園の土を踏んでいる。大淀ボーイズの元チームメイトの活躍にも刺激を受けた。「甲子園で女子も男子に匹敵する感動を与えられる野球がしたい」と決勝進出に意欲をみせた。女子野球の将来を背負う島野の気迫あるプレーに注目だ。



女子高校野球はBチームも出場できる大会があり、メンバー外の選手がアピールする機会が多い。厳しいレギュラー争いの中、絶対的エースに腰を据えている。



3年/投手

島野愛友利

Ayuri Shimano

Support

ケガを乗り越え、チームを全力で支える

女子野球最多規模の64人の部員をまとめる小林主将。選抜大会期間中、右膝に違和感があり大会閉幕後に病院を受診。診断の結果は、3度目の前十字靭帯の断裂だった。医師からは「夏まで野球を続けると、その後の人

生で歩行困難になる可能性がある」と告げられプレーすることを断念。

平日は14時から約4時間、休日は半日、今まで通り主将としてグラウンドで過ごす。練習指示や声掛けに加え、ノッカーへのボール渡しなど、右足に固定具を装着した状態でできる限りチームをサポートしている。

「ランナーコーチやベンチにいる部員も含め、みんながいてチームが成り立つ。プレーができなくても力になれる」。

チームメイトへ診断結果を伝えたとき、「絶対に甲子園へ行こう」と涙ながら誓った。チームの目標達成のため、大切な仲間と笑って夏を終えるため、最後まで全力で主将としてチームを支える。



3年/三塁手/主将
小林芽生
Meo Kobayashi

侍ジャパン女子代表 OGも母校へ熱視線

「高校生の頃はまだ幼かったので、石原監督が怖いし、怒られて『なにくそ!』と思うこともあったけど、監督の元で3年間野球ができたことが一番の思い出。OG(2期生)として現役選手に甲子園の土を踏んでほしいし、勝ってほしい。あっという間の高校3年間を悔いなく過ごして欲しいです」。



侍ジャパン女子野球代表で阪神タイガースWomenに所属する水瀧麻夏投手。

OGの
現役阪神選手



School Data
 ●監督/藤田正樹●部長/野口武
 ●部員数/3年生1人、2年生3人、
 1年生5人(中学生10人)
 創立1931年。最高成績は2016年関東聾学校野球大会優勝(軟式)。県高野連春季大会は0-25筑波大附属、●1-8八千代松陰(3位)。



1 中高合わせて19人。6カ年の絆の時間が仲のいい野球部だ。2 昨年、創部初めて女子選手、持田琴音さん(中3)が入部した。3 顧問の数は合計13人。安全性を優先し部活動は最低2名の顧問が立ち合う。4 ノックで好捕球を見せる大土主将。5 心身の健康のためにも部活動の時間は欠かせない。6 手話を交えて話す藤田監督。7 名物階段上りでスタミナと筋力アップ!

PART 3

千葉聾学校

【ちばろうがっこう・千葉県】

最後まで笑顔で野球をすることが、僕らの“甲子園”

「夏の頂点」を目指す気持ちはろう学校の選手も同じだ。関東8校ある「ろう学校野球部」の一つ、千葉聾学校の夏に密着した。障害のある選手たちは、高野連軟式大会と、関東聾学校野球大会の2つの頂点が目指せる。勝利と人間形成を目指し、努力する姿を追った。

取材・文=榎本ゆき 写真=廣瀬久哉



千葉聾学校って？

聴力に障害のある児童、生徒に対して幼稚園・小学校・中学校・高等学校に準じる教育を施し、併せて障害による困難を補うために必要な知識、技能を授ける学校。千葉県内には他に筑波大学附属聴覚特別支援学校(市川)がある。千葉聾学校の監督・部長の以外の顧問は中村豊、川上浩一、高沢和哉、松野克洋、手塚清、中原憲汰、鶴岡徹、下口将、酒井健太郎、根橋沙也加、永井由理。

中高合同チームで築き上げた6年間の固い絆が自慢!

「野球部に入ると、仲間の大切さに気づき、困難を乗り越える力や、人を思いやる心が、育ちます。この力は『将来、社会に通用する力』です。野球部に入って素敵な中学生活にしよう!」。千葉聾野球部(以下チバロウ)の部活動資料には、藤田正樹監督の熱い想いが掲げられている。チバロウに入学する生徒は、中学生になると文化部、卓球、陸上、バレー、野球の中から部活動を選ぶことになる。「野球はみんなが主役になれるスポーツ。失敗しても誰かが助けてあげられる。誰かの失敗をカバーできる。失敗してももう1回チャンスが回ってくる。一緒にやろう!」と藤田監督が呼びかけ、野球部は最も人気のある部活動になった。最初はみんな初心者だ。それが6年間で一つのチームになっていく。中高の監督を務める藤田監督は「素晴らしい野球は見せられないですが、みんなすごく良い子たちなんです。一生懸命やれる子たちであること

には自信があります。卒業して、野球を続ける子が多いのが自慢です」と胸を張った。卒業生が初任給で買ったと思われるピカピカのグローブをはめて練習を手伝いに来てくれたときは、指導者になってよかったと実感する。

目、表情、手話で意思疎通。ジェスチャーは大きく!がルール

障害のある選手が野球をする上で、ケガを防ぐためにチーム内で決めたルールがいくつかある。

- ① ボールから目を離さない。
 - ② 後ろを向かない。
 - ③ ジェスチャーを大きくする。
 - ④ 声を出すことを遠慮しない。
 - ⑤ 守備範囲のエリアを決めておく。
- など。「生徒たちは耳が聞こえにくいので、相手の目をしっかりと見て会話をします。声を出すことを躊躇する子もいますが、グラウンド内では大声を出さないと叱りますよ。最初はフライ捕球でぶつかることもあります。次第に工夫するようになります」。失敗すると手話で確認しながら改善点を探る。練習中

は指導者も選手もジェスチャーを大きく、喜怒哀楽をはっきり表に出す。「将来のために『自分を表に出すこと』を、野球を通じて教えています」と続けた。

目標は高野連軟式大会の勝利と、2016年以来的関東聾学校大会優勝だ。チバロウの強みは6年間で培ったチームワーク。成長記録ノートで個々の課題を明確化し、足りない練習

は自主練習で補っている。技術練習のほかに、敷地内の階段上りや、冬場の100日2万スイングで体力をつけてきた。唯一の3年生、大土優風主将は言う。「もちろん勝つことが僕にとっての“甲子園”です」。去年の3年生の分まで1試合でも多く戦いたい。最後の夏にける思いは誰よりも強い。

Close up!

ろう学校を指導して12年。「応援されるチーム」がテーマ

藤田監督は千葉県市原市出身、東海大付属市原望洋高校で主将を務め、東海大学では体育学部でコーチングを学んだ。卒業後、特別支援学校の体育教諭としてチバロウ5年、筑波大付属3年、チバロウ4年の計12年野球部を指導。「応援されるチーム作り〜挨拶と返事ができる人間の育成〜」をモットーとしている。「周りのことを考えない、自分中心の態度をすると本気で怒る。でも優しい先生」と選手たち。取材日の5月23日は39歳の誕生日の前日だったため、大土主将が得意の似顔絵をプレゼント。「LINEのアイコンにします」と満面の笑顔を見せた。





自立生活の練習場

寄宿舎に潜入!

遠方に住む生徒男女27人（うち野球部7人）が学校敷地内の寄宿舎で生活している。協調性や掃除洗濯などの習慣が身につく「社会に出るための訓練」と捉えている保護者も多い。共同生活を通して最後は兄弟のように仲良くなる、そんな寄宿舎に潜入～!

整理整頓が行き届き、塵一つ落ちてない寄宿舎。掃除、洗濯、配膳。家でつい怠けてしまうお手伝いを、ここではキチンと生徒が行っている。小林君は「練習を教え合ったり先輩と一緒に自主練ができるところが良い。家よりここにいたいくらいです」と笑う。中学生の黒下君は寄宿舎に入って、初めて練習着を洗濯板で洗うことを覚えた。今は友達に教えられるほどの“名人”だ。自由時間にゲームをしたり、テレビをみたりする寄宿舎が多い中、野球部の生徒は顧問の先生についてもらい、ティー打撃や壁あて（スローイング）の練習に熱中している。「野球が思い切りできるところがいい」と小林君は言う。いつかは親元を離れ、聴者と共存して自立した生活をしなければいけない。寄宿舎はその練習の場でもある。藤田監督は「一緒にお風呂に入って語り合ったりして楽しいですよ。家が近い生徒にも寄宿舎を薦めています。「礼儀が身についた」と保護者にも大好評だとか。



高1/内野手
小林隆太
Ryuta Kobayashi

中3/外野手
黒下来偉夢
Raimu Kuroshita



今日のメニュー

←この日のメニューはピラフとアジフライ。たっぷり練習した野球部の選手たちはお替り率高め。お休みの選手のおかずが回ってきて山盛りに。明日のメニュー（写真右）も楽しみ♪

1日のスケジュール

- 6:30 起床
- 6:45 朝の集い
- 7:30 朝食（配膳、食堂清掃は週番）
- 8:05 登校（授業）
- 15:35 終礼
- 15:50 部活動
- 17:45～ 夕食
- 18:30 自主練習、係活動、行事活動
- 19:00 夜の集い
- 19:30 入浴、洗濯など
- 21:00 学習
- 22:00 消灯

→夕食後は自主練習タイム。穴あきボールを使って、ネットを張った小スペースでティー打撃。



全集中～!!

↑勉強時間は全集中! 家ではだらけてしまう勉強も、仲間と一緒にだとスイッチが入る。

→毎週提出する野球ノートは、監督と保護者が返事を書く。心を通わせるツールの一つ。

ずっと野球の話ができるから楽しい～!!



↑ゴシゴシ……と泥落としをする黒下君。「洗濯板を使っての洗濯は初めて」という選手がほとんど。



←無駄なものが一切ない、綺麗に整頓された部屋。遠方の生徒が平日の月～金の間、生活する。



→火事や地震や水害などの緊急事態を「視覚」で伝える非常灯。全部屋に完備している。

災害の時は…

Key Player

目標は関東聾学校野球大会V! 相手が驚くプレーをしたい

みんながアッと驚くプレーを見せたい!

チームのキーマン3人に話を聞いた。3年生が一人しかいない今のチームは、丹野君、大内君ら下級生も主力としてチームを引っ張る。“おちゃめ”な主将・大土君と、投げて打つても頼りになる大内君、守備とピッチングの精度に定評がある丹野君。彼らの高校野球への想いとは……?



2年/投手兼内野手
丹野弘積
Hiroto Tanno

3年/外野手兼内野手・主将
大土優風
Yunagi Odo

2年/投手兼内野手
大内 黎
Rei Ouchi



手話で選手ミーティングを行う大土君。キャプテンになってから周りが見られるようになり責任感が増した。6年間頑張ってきた野球を最後の夏で出し切る!

先輩に憧れたのをきっかけに中1から野球を始めました。ゲッツーを取った時や、ゴロを打つサインが出てエンドランで点を取った時がうれしいです。冬場は2万スイングを達成して自信ができました。仲がいいチームなので今夏で引退するのは寂しいですが、キャプテンとしてみんなを引っ張り、勝ちたい。個人的には嫌がられるバッターになりたいです。

大内 ソフトボール投げで遠くに投げられたので野球部に入ろうと思いました。セールスポイントは肩とバッティング。遠投は90mくらい投げられます。ソフトバンクの上林選手に憧れています。卒業までに本塁打5本は打ちたい! 好きな言葉は「俺たちはできる!」。まだ優勝したことがないので、自分が出塁してチャンスを作って優勝したいです。

Support



大土優風君の母
大土美穂さん

熱い保護者。スタンドの応援がチバロウの力!

藤田監督が「応援は関東NO.1」と自慢するほど保護者の結束が固いチバロウ。大会前はお手製のお守りを作り贈るのが恒例行事になっている。夏の公式戦になると、スタンドでメガホンを片手にどこよりも大きな声で選手を応援するという。最後の夏を迎える大土主将の母・美穂さんは「学年一人だけの部員だったので寂しい時もあったようですが『このまま頑張りぬけば良いことがある。長く続けることが力になる。これから先も頑張れる人になれるんじゃないの?』と声をかけました。野球部の仲間がいたからやめずに頑張れたのだと思います」と振り返る。

中1の時、初心者で入部した野球部。初めてヒットを打った時の喜びは美穂さんも決して忘れていない。野球を通じて「自分らしさ」を全面に出している選手たちを見つめながら「みんなが輝く夏になって欲しい。一致団結して一生懸命がんばったら、それが輝きだと思う。試合ができることに感謝して、去年の3年生の分まで悔いのないように出し切って欲しい」とエールを送った。



毎年作る保護者お手製のお守りの文字は「最高の挑戦者」「絆」など、その年のキャッチフレーズが縫い込まれている。



球児を支えるサポーターが送る!!

胸アツな 全力応援メッセージ

部活動に励む大勢の生徒はもちろん、
頑張る部活生を支える応援団の水分補給にもおすすめなポカリスエット。
幕張総合高校、神戸弘陵学園、千葉鷺学校の3校の応援団のみなさんに、
熱いメッセージをスクイズボトルにしたためてもらいました。

応援団の水分補給にもポカリスエットがおすすめ!

真夏の炎天下で開催されるナツタイは「熱中症対策」が最重要課題だ。水分だけでなく、汗で失われたナトリウムやカリウムなどの電解質（イオン）が含まれるポカリスエットは、体内の水分バランスを整えることができるため、真夏の水分補給にぴったり。選手はもちろん、汗を流しながら応援する人たちにとっても欠かせないアイテムだ！
ポカリスエット ブランドサイト <https://pocarisweat.jp/>



↑進化し続ける部員みんなが大好きで応援も楽しかった！無理せず、自分のペースで頑張る！最後の最後まで選手の皆さんを全力でサポートします！



↑監督、家族、そしてチームメイトへの感謝の気持ちをすべてぶつけてほしい！最後の大会、とにかく楽しんで！最後まで全力でバックアップします。

ワンチームで甲子園出場を目指す!

幕張総合高校 応援団



全員野球で千葉の頂点を極めるぞ!!

「ここで野球ができて、親としても幸せ!」、そんな声があちこちから聞こえてくるほど、学校に対する想いは生徒同様、親もアツい。そんな保護者にナツタイに向けての応援メッセージを書いてもらった。「野球をしている姿を、1日も長く応援させてほしい」、普段はなかなか口にする事ができないアツい気持ちをスクイズボトルにしたためて各選手に届けた。さあ、全員野球で甲子園初出場の切符をつかみに行くぞ!

↓もともとピッチャーをやっていた息子。肘の故障から上手くいかず落ち込んでいたけれど、最近はバッティングに力を入れ、先日は初ホームランも。最後まで頑張してほしい!



↓このチームの試合を見るのが本当に大好き! まだまだたくさん応援したいので、1日も長く、多くの試合を楽しませてください! いつも一番の応援団です。





↑女子サッカー部にとって女子硬式野球部と一緒に寮生活を送る家族のような存在。「毎日寮でも遅くまで自主練をしていますごい！」と、笑顔でエールを送ってくれました。

全校生徒がチームをバックアップ

神戸弘陵学園高校 応援団



↑寮母の浜中さんは、寮生活の中でも楽しみを作ろうと誕生日会や季節行事を企画し、女子ならではの寮生活を支えている。「女性らしく頑張れ！」とメッセージを送る。



女子野球も聖地で全国制覇を目指す!

「神戸弘陵らしく、最高の笑顔で日本一に!」。そんなアツい思いを込めて、女子サッカー部、マーチングバンド部、保護者のみなさん、寮監さん・寮母さんがメッセージを書いてくれた。決勝戦が初めて阪神甲子園球場で開催されることもあり、応援している人たちも期待が爆発! しっかりとエールを送るため、何度もメッセージを書き直し、たくさんのイラストを添えた。憧れの舞台で全国制覇を達成するため、全員一丸で応援するぞ!



↑「甲子園へ連れて行ってほしい!」と話す國富さんは、父と娘と親子二代で神戸弘陵野球部に所属。保護者のアツい声援が選手たちの背中を後押しする。



↑同校男子硬式野球部1期生であり、選手たちの寮生活をサポートする寮監の山中さん。寮生たちの「第二のお父さん」として、甲子園での活躍を楽しみにしている。



↑マーチングバンド部も女子硬式野球部が甲子園へ連れて行ってくれることを楽しみに応援している。「甲子園で演奏したい!」と、最高の演奏で選手たちを奮い立たせる。



↑「これまでやってきたことに自信を持って!」と、愛娘にエールを送る保護者たち。



↑今までわがままだった息子が厳しい練習でも「野球だけは行く!」と自発的に動くように。藤田先生と仲間を信じて出し切った。



↑去年は仲の良かった先輩たちが大会に出られなかったので、今年は野球ができることに感謝し、一生懸命プレーして輝いて欲しいな!



↑中1で野球部に入った時から「優勝」を目指して頑張ってきたね。ピッチャーとしてまだまだだけど、自主練の成果が出ますように!



↑息子はOBで関東るうV投手だった父の背中を見て、自然と野球部を選びました。高校野球はきっと一生忘れない思い出になるから絆を大切に。私たちも精一杯応援します。



↑練習がつらくても先輩たちをみて頑張れるみたい。野球が大好きなようです。これからもしっかり健康面のサポートをしっかりとっていくよ!

保護者の団結力はピカイチ!

千葉ろう学校 応援団



家で見せない真剣な眼差し。1日でも長い夏にしよう!

藤田監督が「保護者の応援はどこにも負けない!」と感謝するチバロウ応援団。練習にも足を運んでサポートするお父さん、お母さんたちが、スタンドでも熱い声援を送る。ミスが出て笑顔で切り替えることが大事。努力の発表会でもある夏の公式戦で、1つでも多く勝ち上がることが目標だ。「親の言うことをきかなくても藤田先生や仲間の言葉には真剣。家で見せない顔を野球で見せてくれます」。1日でも長い夏にしたい!



↑一人っ子で小心者だった息子が野球と寄宿舎生活のお陰で心が成長しました。お尻を叩く意味でガンバレの言葉を贈ります!



↑YouTubeでピッチングを研究したり本人が野球を一生懸命がんばっているから、私たちも応援とスタミナたっぷりのお弁当で応援するね。



↑小さいころからロッテ戦を見に行くなど野球が大好きな息子。春の大会に出場してから野球に対する意識が高まり、自主練にも熱が入りますよ。最後まであきらめず一球入魂で!



→野球好きなの?って聞いた時ははっきりと「あたりまえじゃん!」。本当に野球が好きなんだなって思ったよ。心を一つにして楽しんでね。



↑野球は難しいけど楽しんでやっているようです。筋肉がついて脚が速くなって驚き! チームワークが1番と言ふことを忘れないでね。

ベースボールテック特集

BASEBALL TECHNOLOGY

進化する立花学園。

最新デジタル機器を練習に取り入れたり、地の不利を逆にとりSNSを積極的に活用したり、いままでの常識を打ち破る野球部運営でテレビや新聞など数多くのメディアで取り上げられる立花学園。その核心と具体的に迫る。

取材・文＝山口史朗、高橋美由紀（座談会） 写真＝小沢朋範



監督は、自発的に練習する選手と“一緒に学ぶ”。 テクノロジーで「指導スタイル」も変わる

立花学園を率いる好奇心旺盛な知将。決して安くはないラブソードの導入も学校の決裁を待たずに自腹で購入した。部員たちは、誰よりも学びに貪欲な監督の背中を見て、自分で自分を育てる大切さを感じるのかもしれない。

「吸収力を2倍」にして強豪校を倒そう!

簡易型の弾道測定器「ラブソード」を投手の練習に取り入れる神奈川・立花学園高校。その狙いについて、志賀正啓監督（34）は次のように語る。

「投球練習をする上で、投手が『良い球だ』と思っても、それを客観視できないことが課題でした。捕手が下級生の場合、先輩に『良くない』とも言いづらいでしょうし。ラブソードで具体的な数値が見られることで、『感覚』と『現実』を即座にすり合わせるができるようになりました」。

志賀監督は、慶應大の助監督として投手陣の底上げに成功した林卓史さん（現・朝日大保健医療学部准教授）の著書「スピンレート革命」を読み、回転数や変化量、軌道などを

知ることの重要性を痛感。同書を読んだ1カ月後の2019年2月ごろ、ラブソードを購入した。

計測できるデータは多岐にわたる。志賀監督は「その投手の特性を知り、どんな投球スタイルを目指せばいいかの手がかり探しをする」ツールとして、ラブソードの数値を参考にしている。

たとえば、直球の「伸び」の指標の一つとなる回転数。130キロならば1,900回転前後（1分間あたり）が「平均」だ。単にこの平均を上回ればいい、下回るとダメ、というわけではない。重要なのは「平均値から外れる」ことだという。

「平均よりも上ならば、さらに回転数を上げて高めで空振りを取れる直球を目指せばいいし、平均より下ならば、ツーシームなどの沈むボールとのコンビネーションを磨いてゴロ

を打たせられるように攻めようなどと提案します」。

数値から自らの特徴を把握し、その特徴に合った投球スタイルを目指すこと。目指す方向をあいまいにしないことが大切だ。

また、ラブソードを使うようになってから、選手たちに「自ら考えて練習する力」が身についたと感じるという。

「数値が即座に出て、その場でフィードバックができるのが大きいです。『こう投げたらこういう数値が出た。じゃあ、このやり方ならどうなる?』という風に。反省を次の球に生かせるから」。

この「自分で考える力」を志賀監督は大切にしている。「何球投げろ、何回やりなさいと私は言いません。部員が約140人いるので、全員を毎日指導することはできない。その中で成長していかないといけないので」。

個々の能力や中学時代の実績では東海大相模や横浜といった、甲子園の常連校にはかなわない。だから、「『吸収力を2倍にしよう』と選手たちには話しています」。具体的な数値を元に試行錯誤し、失敗と成功を繰り返す。自発的に取り組む選手たちと「一緒に勉強する」のが、志賀監督の指導のスタイルだ。

ラブソードに限らず、選手たちにはインターネットなどの積極的な情報収集を勧める。「ネットリテラシー教育と言いますか。高校を卒業したときに、デバイスを使えない人間でいてほしくありませんから。あるものは使った方がいい」。

選手たちはトレーニング方法や変化球の投げ方、プロテインを摂取するタイミングなど、さまざまな情報をデジタル空間から拾ってくる。選手同士でLINEのグループを作り、互いに集めた情報を教え合ったりもしているという。

その結果、5人の投手が球速140キロを超えた。「やらされる練習」ではなく、自発的に取り組むことで、選手たちは大きくその力を伸ばす。ラブソードの存在も、その一助にすぎない。



立花学園高校 野球部監督
志賀正啓
Masahiro Shiga

1986年生まれ。神奈川県津久井郡（現相模原市）出身。明大 中野八王子ではエースで都大会16強。明治大を卒業後、日体大在学中に助監督、部長を8年務める。2017年4月に立花学園監督就任。担当教科は理科。

PART
2

「ラプソード使用で“気づき”得た」立花学園4投手
それぞれの活用法

「#150キロプロジェクト」と称して、ピッチャーを育成している立花学園。なかでも注目の4選手を紹介しよう。ラプソードを生かして、個々の持ち味を生かす練習をしているだけあって、バラエティー豊かな面々である。



3年
小林 爾
Mitsuru Kobayashi
球速とコントロール性を併せ持ち、2020年秋から立花学園のエースを務める。ラプソードを使いこなすクレバーさも持っており、変化球のキレやノビを確認し、自分の状態を客観視している。座間市出身、右投右打。

決め球のキレを確認

春の大会で背番号1をつけた小林爾（みつる）は、決め球のカットボールの変化を確認するときに使う。「横に曲がるスライダーと縦に曲がるカットボールがちゃんと投げ分けられているかを確認するんです」。

スライダーもカットボールも、右打者の外角へ逃げていく軌道。理想はカットボールのほうが球速があり、変化も縦に少し落ちる軌道だが、調子が悪いときは、スライダーの球速、軌道に近づいてしまうという。そうになると、2球種を使い分けることができなくなり、投球の幅が狭まってしまう。

「この2つの数値が似ている日は、あえてカットボールは投げない。変な感覚を身につけたくないので」と小林。週に2回ほどのペースで数値を確認しながら、試合に向けて感覚を整えていくのだという。



3年
上 藪慎一郎
Shinichiro Kamiyabu
外野手からの登板もある左腕。速柔軟性のあるしなやかな身体が特徴的で、カーブ、カットボール、チェンジアップなど変化球を巧みに操る。ラプソードでは「ピッチトンネル」を意識。藤沢市出身、左投左打。

「ピッチトンネル」を意識して「曲がり始め」を調整

背番号9で外野からの登板もある左腕の上藪慎一郎の口からは、「ピッチトンネル」という言葉が出てきた。「ピッチトンネルを通したいんです」と。

ピッチトンネルとは、ここ数年、大リーグやプロ野球でも浸透してきた考え方だ。投手の投げたボールの球種やコースを、打者が判別できるのは、ホームベースから約7メートルの地点までだと言われている。つまり、その地点を通過した後の変化には対応できない。

上藪は最速135キロと速くないが、カーブ、カットボール、チェンジアップといった多彩な球種を、すべてピッチトンネルを通すことで打たれにくくしている。簡単に言うと、「曲がり始め」を遅くするのだ。これもラプソードを使って見ることができる。

回転数を上げて直球の質を高める

最速150キロの永島田輝斗（きらと）は、直球の回転数を気にしながら見ている。武器である速い球も、「質が悪ければ意味がない」。球をリリースするときの感覚を自分の中で変えながら、どういう感覚で投げれば回転数上がるかを、1球ごとにチェックした。

2年生のときは2,000回転（1分間あたり）だったのが、今では2,400回転を超えることも。いわゆる「伸び」が増したことで、「これまで芯でとらえられていたのが、ファウルになるようになった」と手応えをつかむ。



3年
永島田輝斗
Kirato Nagashimada
全国トップクラスの最速150キロを誇る、プロ注目の快速豪腕。小林とともにWエースを務める。中学時代は捕手だったが高校1年秋から投手へとコンバート。1年半で15キロの急速アップを達成した。相模原市出身、右投右打。



右横手投げの東田優輝は、120キロ前後のスライダー、120キロ台後半のカットボール、その中間の球速のスラッターを投げ分ける。ラプソードに加え、スマートフォンのカメラでリリース時のスロー映像を撮影し、球種ごとに手首の角度がどう違うかや、球が指先からどう離れるかを確認した。

「感覚」だけに頼ると、同じ方向に変化するこの3球種を明確に投げ分けるのは難しい。「ラプソードとスロー映像を使うことで、3球種の投げ分けができるようになりました」と効果を実感する。



3年
東田優輝
Yuki Higashida
右横手投げで120キロ台の変化球を投げ分ける東田。小林、永島田に続き、立花学園3人目の140キロ投手でありながら、内野手としてもチームに貢献する。捕手の岩田優真とは中学時代からの仲。小田原市出身、右投右打。

映像解析も取り入れ「3球種の投げ分け」を確立

TECHNOLOGY POINT

4投手に共通して言えるのは、「ラプソードを使うことで、自分の状態の変化に、いち早く気づけるようになった」ということ。絶対的な「数値」でフィードバックすることにより、あいまいではあるが投手にとって大切な「感覚」も磨くことができる。「数値」と「感覚」のすり合わせによって、立花学園の投手陣は初の甲子園出場を目指している。

PART
3

立花学園 バッテリー座談会

テクノロジーを考えるヒントに。 “選手主体”は愉しくも厳しい。

個性豊かな投手陣の素顔を暴くため、彼らのことを一番よく知る岩田優真捕手をゲストに迎え座談会を開催。終始笑いに包まれたいい雰囲気とテンポのいい掛け合いに、チームワークの良さを改めて感じる。

——岩田くんからみて4人はどんな投手？

岩田 そうですね、小林はムードメイカー的な存在。小林が調子に乗ってくるとチームの調子も上がるので、小林を乗せることでチームは勝利に近づきます。その反面、流されやすく調子が悪くなるとみんなで修正していく必要があります。

小林 (苦笑)。

岩田 永島田は基本的にテキトー人間(笑)。でも、ピッチングに対してはひたむきに頑張るし、試合になると意志をハッキリ伝えてきて心強い。小林同様ムードメーカー気質があり、チームの勝利に貢献してくれます。小林と比べると波が少ないというのも特徴かな。永島田 (神妙にうなづく)。

岩田 東田は表には弱いところを見せないクールなタイプで頼り甲斐があるんだけど、実はピンチのとき人知れず弱気になっていることもあるタイプ。そういうときにみんなでカバーするっていうのが、自分のテーマとしてあります。

東田 (複雑な表情)。

岩田 上藪はナルシスト的な側面があって、そこを悪く捉えられがちだけど、僕は投手としての強みになっていると感じます。いいピッチングをしているときは誰も止められないくらい勢いがあるし、悪い方向に行くことも他の投手に比べると少なく大ケガしません。

——すごい確な表現だったけれど、投手のみなさん言われてどうですか？

投手陣 合ってます。(全員苦笑)。

——立花学園は選手主体の指導方針だけど、入ってみて驚いたことはある？

小林 「自主練が多い」とは聞いていたけれど、ここまで多いとは思わなかったです。3時間練習のうち1時間が自主練とかかな？って勝手に推測していたけれど、実際は平日3時間の練習時間、丸々自主練のこともよくあるので、こんなに選手主体なんだって驚きま

した。嬉しかったです。

東田 自分は最初戸惑うこともありましたが、そこで自分が何を練習するべきなのか、そもそも自分に何が足りないのか、考えるのが難しく感じました。

——どうやってその壁を乗り越えたの？

東田 情報能力が高い選手にいろいろ聞いたりにして、すこしずつ知識を増やし、考えを深められるようになっていきました。

——ほうほう、情報通の選手がいるんだね。なんて選手ですか？

岩田 3年の捕手、富樫です。富樫が作った数十人のグループLINEがあって、そこで情



鋭い洞察力と理解力、投手陣から厚い信頼を寄せられる岩田優真捕手。女房役として優れているだけでなく野球技術も秀逸。強肩強打の一番打者で、神奈川屈指のキャッチャーとの呼び声も高い。

報発信をしているんですが、みんな「トガシアカデミー」って呼んでいて。

——トガシアカデミー！

岩田 メジャーリーガーの打撃術を研究したり、新しいトレーニング方法を教えてくれたり、野球だけでなく他の競技のアスリートの考え方を紹介したり、情報の精度が高いん

です。有料のサロンに入って情報を得たりしてとても勉強熱心で噛み砕く力もある。最近では、志賀先生も新しいこと始めるときはまず富樫に話して広めてもらっています。

——それはすごい！強い味方ですね！

岩田 立花学園は、考えている奴には自分の考えを試す時間がたくさんあって有意義だけ

ど、考えていない奴は1日無駄にするだけ。考えないと始まらないんです。

——ラブソードを初めて使ったときはどうだった？

上藪 最初は「なんでこんな高い機械買うんだろう？」って正直思っていました(笑)。いまでは欠かせないものになっているけれど、

小林 立花学園で出会うまで、こんなマシンがあること自体知りませんでした。ただ、使ってみたら自分の球が全部データ化されて、めっちゃくちゃ面白いと思いました。

東田 最初は出た数字をみても何を意味しているのかわからなかったけれど、調べていくほど面白みが出てきました。

——数値で一番意識しているのは？

小林 球速はもちろんですが、変化球のときの回転軸や曲がりをよくみています。

上藪 スピン効率を意識しています。

岩田 キャッチャーも参考にしています。ラブソードの横からの視点が加わることで、曲がり始めがわかり、変化球を再評価できます。

小林のスライダーはその代表例で、途中までまっすぐとほぼ同じ軌道なのに最後に手元で曲がるんです。こういう曲がりだと打者は打ちづらくなります。同じ変化球でも投手によって特徴があるから、それを知ること配給に生かせる大事なツールです。

——ちなみに、みんなは数字に苦手意識はない？数学とか得意？

東田 僕は得意です。大好き。

小林 得意じゃないけれど、人並みかな？

上藪 数学無理っす。一番苦手。

永島田 全教科ダメです。

一同 (爆笑)。

——数学苦手組もラブソードは平気？

上藪 野球のことだから、最初から楽しむことができました。

——なるほど、みんな“自分ごと”だから、抵抗なく楽しめるんですね！



3年/投手

永島田輝斗

Kirato Nagashimada

3年/投手

小林 爾

Mitsuru Kobayashi

3年/捕手

岩田優真

Yuma Iwata

3年/投手

上藪慎一郎

Shinichiro Kamiyabu

3年/投手

東田優輝

Yuki Higashida

効果はあるの？
使いこなせる！？

テクノロジー導入派！

野球部

監督アンケート

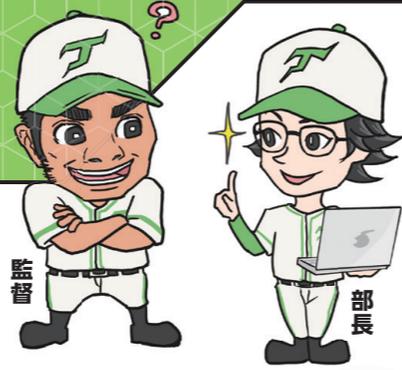
デジタルツールといっても千差万別。欲しいのはお値段以上に活躍してくれて、高校野球の練習で使い倒せるもの。全国の野球部監督に「ホントのトコロ」聞いてみました。

学校名／監督名	練習で使っているデジタルツールは？	取得したデータをどこまで管理している？	デジタルツールを導入して、戦績に成果はでた？	持っていないが興味のあるデジタルツールは？	デジタルツールを導入して、選手は変わった？	デジタルツールを導入して、指導は変わった？	デジタルツールに可能性を感じる？	デジタルツールを使う上での課題点は？	運営で使っているアプリやサービスは？	野球部の公式SNSはある？なぜ始めたの？	部員のスマホ所持やSNSを許可している？
 我孫子東高校 部員数54名 坂本賢司 監督 (42歳) 地歴公民科	<ul style="list-style-type: none"> ★スマホやタブレット ★スピードガン ★ストップウォッチ ★トラッキングシステム 	一部だけを記録しマネジメントに生かしている	出ている	投球解析画面を瞬時に複数人で確認できるマシンがあればよりよい	数値目標を立てやすくなった。コロナ禍でも動画をやりとりするなど、コミュニケーションがとりやすくなった	一緒に撮った動画を確認することが増えた	特に電子スコアに魅力を感じる	個人情報やその管理、許可など	●LINE	【SNSの目的】活動状況を知りたい保護者のため ●インスタ	【スマホ】許可 【SNS】許可
 伊奈高校 部員数34名 藤田大輔 監督 (38歳) 国語科	<ul style="list-style-type: none"> ★スマホやタブレット ★バッティングマシンやピッチングマシン ★スピードガン ★ストップウォッチ ★トラッキングシステム 	詳細を記録しマネジメントに生かしている	部分的に出ている	スコア管理アプリ motus BASEBALL	各自が具体的な数値目標を細かく設定することで、自分に厳しく練習するようになった	イメージと数値データのすりあわせをすることで、より選手の特徴がつかめるようになった	活動の効率化、多様性の尊重、自主性の育成、因習の打破などに有用性を感じる	データに振り回されること。例えば打率などの個人成績を意識しすぎたプレーや、回転数・回転軸などを意識しすぎたフォーム改造など	●LINE ●Zoom ●Google Classroom	【SNSの目的】OBを始めとするファンへのサービス ●公式サイト ●インスタ ●ツイッター	【スマホ】許可 【SNS】許可
 川和高校 部員数59名 伊豆原真人 監督 (43歳) 数学科	<ul style="list-style-type: none"> ★スマホやタブレット ★ビデオカメラやハイスピードカメラ ★バッティングマシンやピッチングマシン ★トラッキングシステム ★スコア管理や試合における戦略分析系のアプリやサービス 	詳細を記録しマネジメントに生かしている	出ている	ハイスピードカメラ	自分を客観的に分析して主体的に練習できるようになった	経験則ではなく、より具体的に、より客観的にアドバイスできるようになった	より効率的にトレーニングできるようになり、パフォーマンスの向上に寄与すると思う	高額であること、耐久性、サポート体制	●Zoom ●Meet ●Google Classroom ●らくらく連絡網	【SNSの目的】保護者、OBを始めとするファンへのサービス、部員募集、部員たちの学びのため ●インスタ ●ツイッター ●Facebook	【スマホ】許可 【SNS】許可
 日本大学櫻丘高校 部員数70名 佐伯雄一 監督 (39歳) 地歴公民科	<ul style="list-style-type: none"> ★スマホやタブレット ★バッティングマシンやピッチングマシン ★スピードガン ★ストップウォッチ ★センサー式タイム測定器（光電管など） ★トラッキングシステム ★スコア管理や試合における戦略分析系のアプリやサービス ★ケガ予防や体調管理のためのアプリやサービス 	詳細を記録しマネジメントに生かしている	出ている	特になし	数字が示されることで説得力と納得感が大きくなったように感じる。また、次の目標も設定しやすい	主観に頼らずに、客観的なデータを取り入れたことで、新しい発見が見つかる	新しい発見や可能性を客観的なデータから取り入れられるのが、とても良い点と思う	数字が本人の感性を奪ってしまう可能性がある点	●LINE ●Zoom	なし	【スマホ】許可 【SNS】許可
 県立城南高校 部員数43名 中野雄斗 監督 (30歳) 地理歴史科	<ul style="list-style-type: none"> ★スマホやタブレット ★ビデオカメラやハイスピードカメラ ★バッティングマシンやピッチングマシン ★スピードガン ★ストップウォッチ ★センサー式タイム測定器（光電管など） ★トラッキングシステム ★動作解析など選手データを可視化するためのアプリやサービス ★スコア管理や試合における戦略分析系のアプリやサービス 	一部だけを記録しマネジメントに生かしている	部分的に出ている	光電管 床反力測定 PUSH2.0 in body	自主練習の質が向上した。最短、最速の成長を期待できるようになった。感覚ではわからない選手の良さを見出せた	自分の感覚と数値のすり合わせ。打順の組み方、継投の判断。測定数値に合わせたトレーニングの構築	習得したい野球技術や能力を意図的に練習して向上させることができるのではないかと感じる	資金面の問題。ラプソードもコーチの所有であり、チームに常時あるわけではない。公立校には、厳しい側面もある	●LINE ●Zoom ●Google Classroom ●PLAY	【SNSの目的】新しい高校野球の価値を作り出し、それを発信していくため ●ツイッター	【スマホ】許可 【SNS】許可
 仙台育英高校 部員数91名 須江航 監督 (38歳) 情報科	<ul style="list-style-type: none"> ★スマホやタブレット ★ビデオカメラやハイスピードカメラ ★スピードガン ★ストップウォッチ ★センサー式タイム測定器（光電管など） ★トラッキングシステム ★動作解析など選手データを可視化するためのアプリやサービス ★スコア管理や試合における戦略分析系のアプリやサービス 	詳細を記録しマネジメントに生かしている	出ている	VR	客観視できるようになった	生徒の感覚を大事にできる	大いに感じる	数字を読み取る人間の能力によること	●LINE ●Zoom ●Slack	なし	【スマホ】条件付きで許可 【SNS】許可してない
 立花学園高校 部員数139名 志賀正啓 監督 (34歳) 理科	<ul style="list-style-type: none"> ★スマホやタブレット ★ビデオカメラやハイスピードカメラ ★スピードガン ★ストップウォッチ ★センサー式タイム測定器（光電管など） ★トラッキングシステム ★動作解析など選手データを可視化するためのアプリやサービス ★スコア管理や試合における戦略分析系のアプリやサービス ★ケガ予防や体調管理のためのアプリやサービス 	一部だけを記録しマネジメントに生かしている	部分的に出ている	Blast Baseball VR	数字を意識することで、客観視しやすくなった	コーチがいらない（セルフコーチングしやすい）	自立を促せるところに可能性を感じる	数値を指導に落とし込めない。データを取っただけになりがちなど	●LINE ●Zoom ●Google Classroom ●らくらく連絡網	【SNSの目的】部員たちにネットリテラシーを学ばせるため ●公式サイト ●ツイッター	【スマホ】許可 【SNS】許可
 千歳丘高校 部員数36名 秋本則彦 監督 (47歳) 理科（物理）	<ul style="list-style-type: none"> ★スマホやタブレット ★バッティングマシンやピッチングマシン ★スピードガン ★ストップウォッチ ★スコア管理や試合における戦略分析系のアプリやサービス 	一部だけを記録しマネジメントに生かしている	出ている	Rapsodo	主体的に行動するようになった。視覚的情報は自分と比較しやすく、自ら考えるようになった	選手が主体的に行動する機会が増えた。試合ではノーサイン野球に繋がるようになった	数値などは具体的に状況がわかり、選手も目標を立てやすい。昨日の自分より越える目標が作りやすい	詳細がわかる物は高価であったり、公立や部員数が少ない学校では管理も難しい。個人情報に細心の注意を払うことが必要など	●LINE ●Zoom ●PLAY	【SNSの目的】部員募集のため ●学校のホームページ内の野球部ニュース	【スマホ】許可 【SNS】許可

詳しくはWEBへ

気になるデジタルツールを調べてみた件。

ここは某県某市にある公立高校のとある硬式野球部。県大会の最高成績はベスト32。強豪校とも弱小校ともいえない中途半端な成績だけど、本気で甲子園を目指して練習に励んでいる。限られた時間と予算でいかに私学と戦うか。最近ではIT好き部長を中心にデジタルツールに注目している。



自らも中高大と野球部で汗を流した生粋の野球人。普段は体育科の教師をしている情熱的な監督(左)。野球経験はないものの野球観戦大好きなITキーク。数学科の教師を務める部長(右)の凸凹コンビ。

vol.1 Nobi for Team

どんなに素晴らしいツールでも使うのが面倒くさいと続かないという事実。



監督、市内の〇×高校でクラスターが発生したらしいですよ。

え!? 〇×高校といえば規則が厳しくてしっかり感染対策をしているチームじゃないか!

確かに。それなのにクラスターが発生してしまうこともあるんですね。

他人事とは思えんな……。うちマニュアルに基づいて感染対策をしているけれど、いまより一歩踏み込んだ部員の体調管理ができないだろうか。

そう思うって、事前に調べてきました!

ヨッ! さすが部長ッ! できるねッ!

(独特のノリに引く)……。えっと、これです。「Nobi (ノビ)」っていう専用デバイスとアプリを使った体調管理サービスなんですけど……

デ、デバイス?? ちょっと何言ってるか分からない……。

サンドウィッチマンみたいな切り返ししないでくださいよ。この、専用スマートウォッチ(写真)が「Nobiバンド」という名前のデバイスなんです。

ああ! 時計ね! 時計なら時計って言うてお〜。ややこしいなあ〜。

……。まあ時計なんですけど、ただの時計じゃなくて「心拍数」「血圧」「睡眠」「アクティビティ」「ストレス」などの生体データを常に管理・計測してくれる代物なんです。

ええ!! 時計でそんなこともできちゃうの?

さらに、取得した生体データから独自の「コンディションスコア」を算出し、選手のコンディションやケガのリスクを一目で把握することができるんですよ。

ケガのリスクがわかるの? それすごい便利じゃないか! ほら、選手って監督になかなかホントのこと言ってくれないからさあ。「大丈夫か?」って聞くと「大丈夫です!」って言うけど、そのあとすぐケガしたりして、「あれやっぱ大丈夫じゃなかったんだ……」って。監督も反省するんだけど、ケガしちゃったら後の祭りなんだよ……。

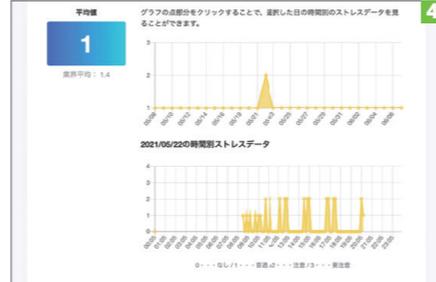
「いけると思って無理しちゃう」っていうときもありますもんね。レギュラーがかかっていたりするとなおさら。Nobiなら、選手の黄色信号を客観的にお知らせしてくれるから、ケガする前に休ませたり、練習量を減らしたり調整することができます。



過去1カ月の「疲労」のグラフ。日毎の疲労度を振り返るうえ「適度な休みを促すことも必要」と見方を教えてくれる。



疲労やストレスが溜まっている選手を「要注意メンバー」としてアラートしてくれる。忙しい監督にぴったりの機能。



「ストレス」のグラフ。気になる日があれば時間ごとのグラフをチェックすることもでき、原因の特定に役立つ。

でもさあ、「一目で把握」っていうけれど、時計をつけるのは選手でしょ? 時計をつけてない僕らがどうやって把握するの?

監督やコーチ用の管理画面から見ることもできるんですよ。Nobiバンドをつけている全選手の心身の状態を数字で把握することができるうえ、コンディションが下がってきている選手は「要注意メンバー」としてアラートがあがるようになってるので、細かい数字を追いかなくていいからとっても楽なんです!

まさに僕みたいに数字が苦手な人にもうってつけじゃないか!!

そうなんです! 監督みたいな体育会系の数字オンチにもオススメなんです!

え?

使い続けることで統計的な分析も可能になり、チーム全体としてパフォーマンスが発揮できるいい状態に向かっているのかどうかがわかったり、前の期間と比較して、いまどういう状態かがわかったりもするんですよ!!

あ、ああ、さっきの発言がちよっと気になるけれども、そ、それは確かにすごいね。試合期になると、いつも練習量の加減に悩んでいたんだよ。今年は特にコロナのせいで例年に比べて練習が全然足りてないから増やしたいんだけど、オーバーワークになってパフォーマンスが下がるとまずいってね。

デジタル初心者にぴったりなシンプル仕様がツボすぎ。

まとめ

【お問い合わせ】株式会社enstem



<https://nobi-app.com/team>

ちなみに、アプリを連携させることで選手自身も自分のコンディションをチェックしたり、体調管理のためのアドバイスを受けとったりすることができるんですよ。

選手自身が自分のコンディショニングを客観的に数字で知ることができたら体調管理に興味もわくだろうね。

まさにそうですね。しかも、こういう体調管理ツールって、毎日細かくデータ入力をしなきゃいけないものが多くて続かないっていう最大のデメリットがあるんですが、Nobiはスマホアプリで簡単な質問に答えるだけで、あとはバンドからデータが取得できるのが本当に魅力的なんです。

でも、お高いんでしょう? うちのそんなに予算ないからさ、ハイテク時計で体調管理なんて夢のまた夢だよ。

それが、そうでもないんですよ。例えば、部員が25名の場合、デバイス代は別途費用がかかりますが、月々の利用料は37,500円。一人1,500円ほどで選手の体調をチームで管理することができます。

マジか!? それは考えられない金額ではない!

他の部活にもオススメだし、いますぐ校長に相談しにいきましょう!

おおー!!!

Nobi for Teamの各項目の数値の推移は以下のように表示されています。

名前	パフォーマンス	コンディション	最終利用日
選手A	●	●	2021/05/12 詳細
選手B	●	●	2021/05/12 詳細
選手C	●	●	2021/05/11 詳細
選手D	●	●	2021/05/12 詳細
選手E	●	●	2021/05/11 詳細
選手F	●	●	2021/05/11 詳細
選手G	●	●	2021/05/12 詳細
選手H	●	●	2021/05/10 詳細
選手I	●	●	2021/05/11 詳細
選手J	●	●	2021/05/11 詳細
選手K	●	●	2021/04/29 詳細

全選手の、今日の「コンディション」と「パフォーマンス」を3段階で表示。試合での起用に役立つ情報だ。



チーム全体の「コンディション」と「パフォーマンス」もスコア化。前月値との比較もでき、練習量の調節に生かせる。



コンディションスコアには、質問に答えることで得られる選手本人の「主観データ」も加味される。体調管理にまつわるコラムなどを読むこともでき、意識が高まる仕組みに。

今、どれくらい疲労感を感じていますか?

感じていない
 感じている
 とても感じている

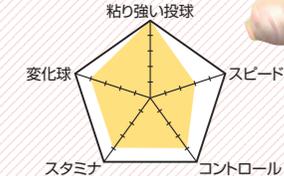
アマチュア野球ウォッチャーとして活躍する西尾マンが注目選手を選出する大好評連載！ 高校最後となる夏の県大会で活躍が期待される4人の逸材を厳選。いずれも潜在能力の高い選手が揃うだけに、今後の進路も含めてどのような成長を遂げていくか見守っていこう。

取材・文・写真=西尾典文

強靱な肉体から繰り出す パワフルストレートが自慢

北見 隆侑
Ryusuke Kitami

乙訓(京都) 3年 投手
●右投右打
●176cm・88kg
●足/27cm
●50m走/6.7秒
●速投/110m
●田辺東クラブ→南部ボーイズ



レベルの高い近畿でも屈指の安定感を誇る右腕。走者を出しても落ち着いた粘り強い投球が持ち味で、両サイドを丁寧に突くコントロールも安定している。昨秋の近畿大会では、達孝太(天理)と白熱の投手戦を演じた。



将来の夢
プロ野球選手

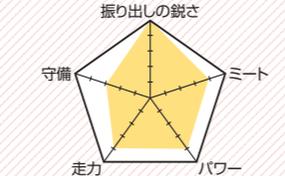
趣味
ゲーム

好きなマンガ
美味しんぼ

鋭いスイングが自慢の 駿河のバット職人

勝又 湧斗
Yuto Katsumata

常葉大学橋(静岡) 3年 外野手
●左投左打
●173cm・73kg
●足/28cm
●50m走/6.6秒
●速投/90m
●御殿場ファイターズ→御殿場ボーイズ



旧チームから中軸を任されている左の強打者。上背はないものの、たくましく体つきを生かしたスイングは迫力十分。特に無駄な動きのない鋭い振り出しは抜群で、打球の速さも高校生では間違いなくトップクラスだ。



趣味
けん玉

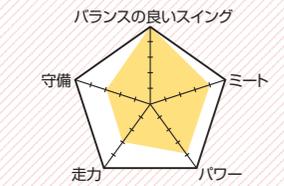
好きな応援歌
We Will Rock You

好きなプロ野球チーム
読売ジャイアンツ

恵まれた体躯を存分に活かす ミート力自慢の四番打者!

古宮 幹大
Kanta Komiya

藤代(茨城) 3年 内野手
●右投右打
●185cm・80kg
●足/28.5cm
●50m走/6.5秒
●速投/90m
●牛久利トル→取手シニア



1年春からベンチ入りしている茨城を代表する右の強打者。大型だが決して力任せではなく、バランスの良いスイングで広角に鋭い当たりを放つ。春は大逆転負けを喫しただけに、夏はそのバットで悔しさを晴らしたい。



好きな芸能人
浜辺美波

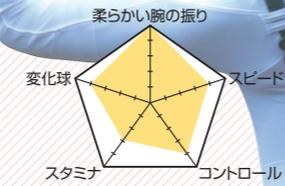
憧れの選手
糸井嘉男

将来の夢
高校の教師

シャープな腕の振りが特徴な 尾張の負けず嫌い右腕

宮川 凜士
Rinto Miyagawa

帝京大学可児(岐阜) 3年 投手
●右投右打
●180cm・75kg
●足/28.5cm
●50m走/6.3秒
●速投/100m
●萩原少年野球クラブ→尾張ボーイズ



将来性の高さが魅力の本格派右腕。体つきはまだ細身だが、長いリーチを柔らかく使える腕の振りは一級品で、ボールの角度も申し分ない。筋力がついてくれば、一気にスピードアップすることも期待できるだろう。



好きな教科
体育

オフの過ごし方
身体のケア

将来の夢
プロ野球選手

ウサダーが直撃取材! イケてるブラバンなう!!

今回の取材先

柏市立柏高校・吹奏楽部

演奏動画も見られるぞ!
Timely! WEBもチェック!

柏市立柏高校・吹奏楽部の取材の様子は、タイムリーWEBでも掲載中! QRコードを読み込んでチェックしてみよう。



ブラバンの演奏って本当にすごいよね。今回は千葉県の名門校にオ邪魔して総勢約170名の大迫力応援を体感したんだけどシビれたよ~! 早く球場で聴きたいな。

スタンドにいるみんなで 盛り上がるのがサイコー!

今回ウサダーが訪れたのは柏市立柏高等学校吹奏楽部、愛称「イチカシプラス」。全日本吹奏楽コンクールに27回連続出場中、全日本マーチングコンテストに21回連続出場中の全国屈指の強豪校だよ。「美しい音楽は美しい環境から」をモットーに、清掃、ゴミ拾いなども率先して行い、気持ちのいい環境で日々の練習に励んでいるんだって。

部員数は1年生31人、2年生72人、3年生67人の合計170人。今回は2年生と3年生が体育館に集まり、演奏を披露してくれたよ。120人以上の演奏は大迫力! カラダの底から響くような音が印象的だったな。

今回インタビューに答えてくれた野球応援リーダーの橋本くんは、「音量を気にせず、遠くまで音を飛ばせる野球応援が大好きです」とうれしいラブコール。ほかの部活と比べると、野球部も吹奏楽部も練習時間が比較的長いから、野球部が練習を頑張っている姿を見て「自分たちも頑張ろう!」とパワーをもらっているんだって。

強豪吹奏楽部なこともあり、いつもは学校側から応援してもらっているというイチカシプラス。野球応援は、応援している側になれるのもうれしいって話していたよ。野球のルールも覚えて、スタンドにいるみんなで盛り上がるのがたのしいんだって。

野球部からは「これを演奏してほしい」とリクエストがくることも。部員一人ひとりの曲やチャンステーマを野球応援リーダーが決めて演奏していて、「あの曲が流れてうれしかった」と野球部から連絡があったときは「応援リーダーをやってよかったなと思えた」とエピソードを教えてくれたよ。部員数の多いイチカシプラスは、野球応援に参加するのが1年生だけと決まっているので、「フレッシュさにも注目してください!」と部長の宮脇くん。みんなもイチカシプラスの大迫力&フレッシュな応援に注目してみよう!

ライフガード最高ッ!



インタビューに答えてくれたのは部長の宮脇史穂くん(右上)、副部長の天野陽奈さん(右下)、野球応援リーダーの橋本大晴くん(左上)、渡邊佑津美さん(左下)。



大迫力&フレッシュさがイチカシ応援の魅力!

1 野球応援リーダーを中心に自分たちでメニューや曲を決めて練習しているんだって。2 170人の大所帯を率いる顧問の緑川裕先生。3 00感染症対策のためオリジナルのヘルマスクをつけて練習しているよ。



“パイセン”による 海外留学のススメ

夢見る球児たち必見!



今回の
“パイセン”
まつ まる こう た ろ う
松丸航太郎
パイセン

神奈川県出身。鎌倉学園高校時代は、3年時に西神奈川県大会の決勝まで進んだチームの三番打者として活躍。甲子園出場は逃したが、高校時代に野球に対する考えが変わり、アメリカへの野球留学にも興味をもち、アスリートブランドを通じて留学中。以前このコーナーに登場した小島和也パイセンとは同級生だ。

グローバル化が進むスポーツ界において、野球でも高校卒業後に、アメリカへ留学してプレーを続ける選手が増えている。ここでは、異国の地で大好きな野球を続けることを決意したパイセン(=先輩の意)をピックアップ! 進路に悩む君たちへ貴重なアドバイスを送ってくれるぞ!

小 学校5年生の頃、自分自身がのめり込めるものはあるかなと思ってたとき、友だちに誘われて野球の練習を見に行きました。そこで“これなら夢中になれるかも”と思いました。

自身でプレーするまで、野球をテレビで見たこともなかったという松丸パイセン。そんな彼が、今では留学をするまで野球にのめり込んでいった理由は何だったのか。「少しずつ野球が楽しくなったのが大きいですね。あと高校2年の秋の大会で横浜高校に勝利し、自分たちもやれるんだと自信がついたこともよかったと思います」。

高校3年最後となった夏の県大会では、決勝で破れ目標の甲子園出場は叶わなかった。それでも「結果として甲子園には出られませんが、高校最後の大会は、楽しんでやろうとみんなで話していたんです。その点は、やり遂げられたのでよかった」と、松丸パイセンは振り返る。

高校野球人生は全うしたという松丸パイセン。その直後にアメリカへの野球留学へ向けたセレクション参加を決断する。「日本の大学へ進学して野球を続けるという気持ちもありました。でも、高校3年の春の大会のとき、野球留学の話聞いたんです。進路についてはすごく迷いましたが、**親から「セレクションだけでも受けてみたら」と背中を押され、チャレンジしました**」。

アメリカの野球に触れ、**自由な雰囲気楽しくプレーしている選手たちが新鮮**だったという松丸パイセン。“野球=厳しいもの”との感覚があり、のびのびと野球をやる環境に

身において野球をしてみたいという気持ちが強くなった。そして見事、セレクションに合格。そこから英語の勉強に励み、2019年の7月に渡米した。不慣れな生活環境で、一番戸惑ったのは、やはり言葉の壁だった。「自分の思いを伝えられないことが一番大変でした。今では、慣れもあって、徐々に自分の意見を主張できるようになりましたが」。

野球留学2年目を迎えた昨年は、コロナ禍の影響で3月から9月初旬まで帰国を余儀なくされた。日本では母校のグラウンドを借りて練習に励んだが、実戦をできない歯がゆさがあったと話す。「**実戦ができなかったのはつらかったですね。トスバッティングを数多くこなしても、実際にピッチャーが投げたボールを打つとは、目の動きも、タイミングの取り方も大きく変わるので**」。

今は、4年生への編入へ向け、野球、そして勉強でも結果を求められる時期だという松丸パイセン。バッティング、守備とまだ課題が残るため、克服するために努力を続けているという。そんな彼に、アメリカでの野球留学を決断して良かったか聞いてみた。「日本にいたときより、**自分から積極的に行動できるようになったのは、アメリカに来たことが影響している**と思います。もし留学をせずに日本の大学へ進んでいたら、環境に甘えていたかなと。だから、行動力や決断力を身につけられただけでも、留学して本当によかったなという気持ちは強いです」。

自身の成長にもつながる野球留学。興味のある人は、松丸パイセンのように、一歩足を踏み出してみたいはかがだろうか。

パイセン Q&A

Q 英語の勉強で努力したことは何ですか?

A 文法など基礎もやりましたが、リスニングとスピーキングはかなり時間をかけて行ったと思います。

Q 今の野球での課題は何ですか?

A バッティングでは、周りに比べて長打力が劣っているため、もっとパワーを付けたいです。

Q 食事面で苦労することはありますか?

A 肉が中心の食生活なので、和食や魚が恋しくなりますね。日本にいたとき、そこまで魚が好きだったわけではないですが(笑)。

Q 今後の目標は何になりますか?

A 今は、4年制への編入を成し遂げることが目標です。将来的には、語学力を生かした仕事につければと考えています。

キミも Let's Challenge!

パイセンの海外留学の様子

セレクション当時や現在のパイセンの様子をチェック!



セレクション当時と比べ、10kg以上体重が増えているという



照明設備も万全で夜間練習も快適に行える



天然芝の美しいグラウンドに感動したという松丸パイセン



セレクションでは楽しくプレーすることを心がけたと振り返る

How to 海外留学

決して遠くない海外への道。勇気を持って、ぜひトライしてみよう!

海外留学へ挑戦するための流れは、いたってシンプル! 進路を決めるのは、最後の夏が終わったあと。高校球児として“引退”したあとから、海外挑戦の歩みは始まることになる。挑戦を決めたら、米大学野球部国内セレクションまたは動画調査に申込! 見事合格となれば、入学手続きを踏み、アメリカでの大学生活をスタートできるのだ。大学では当然、野球以外の勉強もいち学生として学んでいく。語学を学びつつ、最後まで通えば通常の“大卒”として就職活動もできる。その後、どんな道を進むかは君次第! ひとつの選択肢として、考えてみよう!

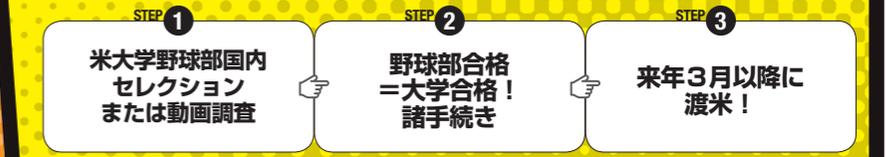
米大学野球部国内セレクションを2021年8月18日(水)に関東で開催。国内セレクションに参加できない場合、動画による受入調査可能。また8月18日以外のセレクション第2弾も開催検討中。詳細は上記のQRコードをチェック。就職実績: プロ野球選手(NPB、日米独立)、プロ野球球団関係者(通訳、トレーナー等2021年4名)、国際スポーツ連盟、大手上場企業、官公庁、プロレーサー、大学職員、市議会議員、起業独立など。詳しくはお問い合わせ下さい。

現高校3年生向け //
米大学野球部
国内セレクション(無料)
8/18(水)
関東で開催決定!
詳細はこちら▶

留学会社を選ぶ
5つのポイント

- 1 4年制大学への進学実績
- 2 就職実績
- 3 野球部に入るまでをサポートしてくれるか
- 4 渡米後の生徒たちとのつながり具合はどうか
- 5 先輩留学生たちとのつながりはどうか

君の未来に、野球留学の選択肢を!



アメリカ野球留学はアスリートブランドで! 高校野球部向けの無料説明会も実施中

お問い合わせ先 www.athlete-brand.com
TEL.03-3230-0036(代表)

今すぐ
君の武器を
手に入れよう!
話題のギアなど
プレゼント!

PRESENT!!

味の素株式会社

アミノバイタル® ゼリードリンク SUPERSPORTS

3
名様

●価格: オープン価格
限界に挑戦する全ての人にとって大切なアミノ酸
3,000mgとクエン酸1,200mgを配合した飲み
やすいゼリードリンク。スポーツ時の摂取により
カラダ全体のコンディショニングが期待できる。



味の素株式会社

アミノバイタル® アミノプロテイン 10本入パウチ

10
名様

●価格: オープン価格
必須アミノ酸とホエイプロテインを配合
した、新しいタイプのプロテイン。携帯
に便利なスティックタイプでタイミン
グを逃さず摂取できる。

ライズTOKYO株式会社

高反発素材のRISEスリープオアシスシリーズから、持ち運びタイプのモバイルパッドと
理想の寝姿勢をキープできる2種類の枕を計3名様にプレゼント。

スリープオアシス モバイルパッド ▼

●価格: ¥8,789



◀スリープオアシス 首肩コンフォート枕

●価格: ¥8,789

▶スリープオアシス 寝返りサポート枕

●価格: ¥8,789



株式会社ユニクロ

ドライEX クルーネックTシャツ

●商品価格: ¥1,500

前身頃を天竺素材に変更し、より
カジュアルにも着やすいデザ
インに。乾燥速度がコットンの
約半分で汗が肌に張り付きにく
い、アスリートも認める速乾機
能。汗をかいた後、気になるにお
いを抑える抗菌防臭機能付き。
ネーム入りオリジナルデザインを
限定1チーム10名様にプレゼント。

1チーム
10
名様



※表示価格は全て税込です。

イフジ産業株式会社

REVOPRO® エッグホワイトプロテイン

3
名様

●価格: ¥5,500
筋トレYouTuberの
KANEKINの他、多く
のアスリートが認める
卵白プロテイン。たん
ぱく原料として100%
で使用されているのは、
吸収率の優れた卵白。
1サービングで卵7個分
の卵白を手軽に摂取で
きる。乳糖フリー、人工
甘味料フリー。乳糖不
耐症の方にも安心。



株式会社TWO

薬用BARTH 中性重炭酸入浴剤

5
名様

●価格: ¥2,750
BARTHは独自技術から生まれた中性
重炭酸入浴剤。重炭酸イオンを豊富
に含むお湯が温浴効果を高め、疲労回復
を促進。カラダを芯から温めて、朝
までぐっすり眠れる状態に整える。



友だち登録をお願いします!

アンケートに答えて、希望賞品をゲットしよう 応募締切 2021年7月31日

プレゼントへの応募はTimely! LINE公式アカウントから!

*当選者の発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。*ご入力いただいた個人情報は抽選や商品の発送の目的で利用いたします。第三者に開示、提供することはありません。

